

# 相好行相

・安産寺 子安地蔵菩薩

・聖林寺 十一面観音立像

は珍しく脇を履く。

拝む者の目の高さや

真二）これは室生寺金

この地蔵像は僧侶ではなく、中村地区の住民の手によって守られてきた。地区の集会所でもあるお堂の奥の階段を登つたところに収

そこに安置されている。地区の人々を見守るかのように、地蔵像の視線は堂内に向けられて

下部に位置付いて見える。地蔵菩薩の顔が幼美だ。左手は宝珠を持ち、右手は自然に下げている。地蔵像として

（二）これは室生寺金

現在、子安地蔵菩薩像

りの街道として栄えたと聞く。鉄道が開通したのは昭和初期のことだ。近鉄大阪線を見おろす高台に安産寺がある。本尊は子安地蔵菩薩である。身体にまと

う衣は朱色を帯び、優美だ。左手は宝珠を持ち、右手は自然に下げている。地蔵像として

三重県境に近いところ、宇陀川の流れる谷あいはかつてお伊勢参りの街道として栄えたと聞く。鉄道が開通したのは昭和初期のことだ。近鉄大阪線を見おろす高台に安産寺がある。本尊は子安地蔵菩薩である。身体にまと

う衣は朱色を帯び、優美だ。左手は宝珠を持ち、右手は自然に下げている。地蔵像として



は重要文化財に指定され、文化庁の了承を得て作られた収蔵庫内に安置されて

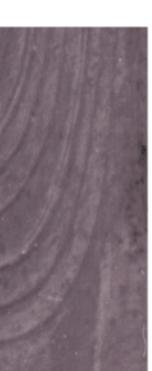
いる。一九四〇年

年に奈良国立博

## 安産寺 子安地蔵菩薩

薄暗い収蔵庫の中にくつきりと浮かび上がり、硬質な印象を放つ。

れば、地蔵像は雨の日に増水した宇陀川をくだつて来られたという。



次に収蔵庫の外の段差を降りてみる。見上げる地蔵像の表情はあどけなさを残し、少し微笑んでいるかのようだ。

地蔵像の目の下には涙袋のようなふくらみが表現されている。その縦幅が広いため、目の位置が実際よりも顔の下部に位置付いて見える。地蔵菩薩の顔が幼く可愛らしく写るのはそのためだろう。

堂諸像（一部は博物館に安置）に特有の表現で安産寺に安置されるようになつたのかはわかつていない。ただ、地蔵像に由来する像で安産寺の地蔵に見られる衣のひだの表現は「漣波式」と呼ばれる。地蔵像と寸法の合わない光背がある。これを

（二）これは室生寺金

（二）これは室生寺金

・安産寺 子安地蔵菩薩

・聖林寺 十一面観音立像

# 相好行相

物館で鑑定を受けるまでは、地蔵像の足元は子どもたちの遊び場であつたそうだ。トラックが横着けできず、地蔵像を荷車に乗せて運んだというエピソードも残る。地区の人々と共に時代を過ごしてき

た光景がしのばれる地蔵像である。

写真は子安地蔵専任保護委員の勝井宏次さんからお借りしました。お父様の勝井松博さんが撮影した写真です。ありがとうございました。

\*\*\*

## 聖林寺 十一面観音立像

佛教伝来以来、日本では神仏習合の考えが形成されてきた。東大寺手向山八幡宮のようにお寺を守護する形で置かれた神社もあつた。で建てられた神宮寺もあつた。

日本最古の神社とも言われる大神神社にも、三つの神宮寺があつた。日本最古の神社とも言われる大神神社にも、三つの神宮寺があつた。

子命を祀つている。  
菩薩像の中には、右足を少し前に踏み出し

てある。この動きが下ると、たなびく雲を模した台座に乗る像もある。これらの動的表現は、菩薩が衆生を救いに向かう様子を表している。しかし、聖林寺十一面観音像が胸をはつて直立する姿

は、搖るぎなく頼もしい。どこかへ赴くわけでもなく、誰かを迎えるように思われる。この非対称が様々な人々



を魅了してきたのであらうか。

十一面観音像は、おそらく一年間お寺を離れる。現在の収蔵庫が改修され、地震対策が施された新しい収蔵庫が建てられるのだ。工期中は、六月二十二日から

は、東京国立博物館、来年二月五日からは奈良国立博物館で行われる展覧会「国宝 聖林寺十一面観音—三輪山信仰のみほとけ」に出陳される。かつて三輪山を舞台に、神への信仰と、仏への信仰

三次元化したかのよう

に、指先には動きの気配がある。この十一面観音像の指と身体は時

間の切り取り方が異なるように思われる。この非対称が様々な人々

写真はご住職の倉本明佳さんに許可を得て使わせていただきました。ありがとうございました。